

—淡路の情報がいっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

# ポケットあわじ



## YOUは何で淡路島へ？～グルメ編～

VOL.157 もくじ P1 PASHUPATI P2 るつぼや P3 豊源 P4 りんどう・フクスケ亭 P5 薫陶の郷・にほんごくらぶ P6 淡路文化会館・淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7,8 淡路の文化活動・イベント情報



インドから運んできたかまどで焼いています。



パシュパティさん  
出身地：ネパール

パシュパティさん(左端)とスタッフ

### 東浦店にてオーナーのパシュパティさんに直撃インタビュー!!

8号店:淡路大谷店 淡路市大谷1082-2 ☎0799-64-1318  
9号店:淡路東浦店 淡路市久留麻1907 ☎0799-74-5611

- Q1: どこから来ましたか？  
A: ネパールです。
- Q2: なぜ、淡路島に来ましたか？  
A: 本店の加古川をはじめ他7店あったが、ある日、お客さんから、淡路島はすごくいいところで、インド・ネパール料理の店が無いと聞いた。それまで淡路島に行ったことは無かったが、はじめて淡路島に行って、すぐに気に入り、その日に大谷店を決めた。
- Q3: 日本人の変だなと思うところは？  
A: 自分の子どもは大事にしているのに、親を大事にしていない感じがする。自分を産んで育ててくれたお父さん、お母さんにもっと感謝して大切にしないとだめ。
- Q4: 好きな日本語は？  
A: ありがとう、いただきます、ごちそうさま・日本語は全部好きです。
- Q5: 一番大切なことは？  
A: 家族を大切にすること。
- Q6: 淡路島の人にメッセージ  
A: 一度食べに来てください。そして、二度三度・何度も食べに来てください。淡路島大好きです。淡路島の人には優しく、何でも親切に教えてくれる。ずっと住みたいです。



私たちは『パシュパティペアセット』(スティックサラダ、タンドリーチキン、シシカパブ、チーズナン、プレーンナン、バターエビ、キーママサラカレー、日替わりカレー、マンゴーラッシー、アイスクリーム)をいただきました。



チーズナンです!

インドから運んだかまど「タンドール」で焼かれたタンドリーチキンは、余分な油を落とし周りはパリッと中身はジューシー！ナンも美味しくふわっと焼きあがってます。とろとろのチーズが挟まれたチーズナンは、そのまま十分に美味しいし、キーママサラカレーを包んだ「レタス包み」はおすすめて。淡路島にしながら、ネパール人シェフが作る本格インド&ネパール料理が味わえる店です!!!



応援隊: 藤本 法美・池田 けい

# ヤーマンカレーのお店 旨辛食堂 **るつぼや**

知る人ぞ知る  
ヤーマンカレー

馬崎 泰成さん  
出身地：大阪市



野菜たっぷり牛すじカレー



## 屋台カレーから始めました！

### 何のキッカケで淡路島にお店を…？

農業をしながらお店をしたい、海の近いところが良い…という想いから、いろいろな地域をまわったが、淡路島により魅力を感じて7年前に淡路市で農業を始めました。

2年前のイベントで参加したヤーマンカレー(友達の山田くん直伝のレシピ…がヤーマンの由来)が好評だったので、しばらくはコモド商店街や海岸通りで屋台カレーを営業していましたが、遂に今年2月に実店舗が「旨辛食堂るつぼや」として新開地にオープンしました。「人種のるつぼ」という言葉のように多国籍の料理が混在して一緒に楽しめる店にしたい…と「るつぼや」と決めましたそうです。

淡路島でお店をして良かったことは、魅力的な食材が身近で豊富にあって、生産者さんとの交流の中で、思いもしなかった食材が手に入ったりすること。

お店は白を基調とした明るい雰囲気、気軽にアジア多国籍風の料理を楽しめる感じです。おすすめは



「野菜たっぷり牛すじカレー(¥1,000)」で、自慢の牛すじカレーに厚目の玉ネギのソテーと季節の野菜の素揚げがたっぷりとのってます。テーブルには「辛みの素」がありますがホント辛いので、少しずつかけて好みの辛さに調整します。

夜はパーティープラン(要予約・2名様から)もあり、タンドリーチキンやカレー2種などのコース料理と2時間飲み放題がセットで¥3,500というメチャお得なコースもあります～。

応援隊：栄 宏之



白を基調とした  
明るい雰囲気の内



洲本市本町4-2-23  
TEL : 0799-20-5761  
営業時間：昼11:00～14:00  
夜18:00～24:30ラストオーダー  
(日曜日は20:30ラストオーダー) 定休日：木曜日



# 尹逡理(いんそんり)さん 韓小敏(かんしょうびん)さんご夫妻 出身地：中国黒龍江省

国道28号線を洲本の方へ走ると、生穂交差点の少し手前に台湾料理「豊源」の赤いお店の看板が目に入ります。2014年11月5日にオープンしたホヤホヤのお店で5人の中国の方が働いています。お店の中は中国風装飾で主に赤色を多く使用。(中国で赤は幸福を呼ぶ色といわれています)元氣よく「いらっしやいませ」と愛きょうのある発音で迎えていただき、注文すると調理室では中国語で話し、一瞬「ここは中国かな？」と錯覚します。



## 豊源四川風担々ラーメン

ほうげん  
**豊源**

淡路市生穂1291-2  
TEL0799-64-2058

### 料理長おすすめメニュー

- ① 豊源四川風担々ラーメン
- ② 店長考案!こまやき  
(豚ばら肉のニンニク特製ソース焼き)
- ③ エビナスチリチーズ
- ④ 四川風山椒入り炎麻婆豆腐
- ⑤ 手作り焼き餃子(大人気メニュー)



四川風山椒入り  
炎麻婆豆腐(辛い!)

大好きな淡路で愛情たっぷりの料理を提供  
へスタミナをしっかりとって夏を元気に過ごそう~



あり、とくに海が大好きと何度も目を輝かせて話してくれました。お二人ともとても淡路が気に入ったようですが、お子さんがお友だちと仲よく遊んでいるか、学校へ行ってからもお友だちができるのか心配しています。親として誰もが心配することなので、ご両親も早く相談できるお友だちをつくってほしいと思います。

豊源で働いている5人とも中国の黒龍江省出身で、全員が淡路が自分たちの居場所にぴったりだと思い、これからも淡路に住むことを望んでいます。とくに韓さんは20歳まで海を見たことがなく、毎日目の前に海があるのはうれしい、明石海峡大橋を渡ってはじめて淡路へ来たとき、あまりの長さで少し揺れたのがこわかったと今では笑い話のように話されます。ご主人は大陸育ち。大きな気持ちの持ち主で、橋が素晴らしい、台風

も大丈夫、大丈夫と何に対しても動じないで、やさしく、にこやかに話されます。

ご主人は日本に来て9年目、奥さまは8年目になります。奥さまは日本語がお上手ですが、ご主人の尹さんや他の従業員の人は、聞くこと(ゆっくり話すのがよい)はできるが、話すことはまだまだ難しいそうです。そのため、奥さまの韓さんが買い物やお客さまとの話には中心になって進めています。ご夫婦に何か不便なことはないかと聞くと、野菜やお肉などを大量に売っている市場がないことだと言われ、私たちはスーパーや直売所で用が足りているので、大量に購入できる市場には気がつかないことを改めて考えさせられました。豊源は、私たちの考えているよりも多くの食材を使い、また、地元淡路産の食材を望んでいるため、どこか大量に購入できないかと悩んでいます。

また、豊源は一人前の量がとても多いです。愛情たっぷりの料理を皆さまにしっかりと食べていただき元気に過ごしてほしいのが最大の望みです。ちなみに中国料理と

台湾料理の大きな違いは「辛さ」だそうです。これから夏に向かって夏バテしないようにスタミナをしっかりとって、夏を元気に過ごしましょう! 応援隊: 廣岡 ひろ子



旅行に来たのがきっかけで  
淡路でお店をはじめました。



九州直送の地鶏

季楽酒肴

安部 祐介さん  
出身地：福岡県

りんどう

メインは日向地鶏の鳥料理

タタキ



洲本市本町5丁目4-28  
☎0799-53-6855

オーナーの安部祐介さんは、福岡県の出身で淡路島へ旅行に来たのがきっかけ。以前から農業をやりながらお店をやりたいと思っていたそうです。実際に淡路島へきてみて、自然がいっぱいで自分が思っていたところにぴったりだと思い、地元で営んでいたお店を閉めて今年の1月に淡路島へ移ってき

ました。そして今年の4月からこの「季楽酒肴りんどう」開店して1年あまりになります。

今は家庭菜園程度ですが、自分で食材を作りながらお店をやっているとのこと。淡路島への印象は「自然が多くて、お客さまをはじめまわりの人たちが温かく応援してくれるし、とてもいいところで

す」と語ってくれました。お店での料理は、九州から直送されてくる「日向地鶏の鳥料理」がメインですが、その中でも「タタキ」や「煤焼(すすやき)」などがおすすめです。また「りんどう」という店名は、安部さんの誕生花が「りんどう」のことから名付けられたそうです。 応援隊：田処 吉久



おすすめは  
ホットサンド

テイクアウトOK!

レトロ小遣 チャレンジショップ  
サンドイッチ専門店  
フクスケ亭

レトロなお店で  
新鮮なサンドイッチを  
味わう……



淡路島の食材にこだわった  
サンドイッチ★

橘 真央さん  
出身地：宮崎県



洲本市本町5丁目4-12 ☎050-7119-2491

宮崎県出身の店長、橘真央さんは今年の7月に淡路島へきました。それまでも友人を訪ねて何回か淡路島へ来ていましたが、その時はこの淡路島でお店を開くとは思っていなかったそうです。

ちょうど「レトロこみち」にあるこの店舗が空いていたため、今年の12月にサンドイッチ専門店「フクスケ亭」をオープンしたそうです。

淡路へ来た時は言葉の違いに戸惑ったが、それにも今ではだいぶ慣れてきて、淡路島の人たちは気持ちが温かいし、たくさんの方が気にかけてくれるのがと

ても嬉しいと。サンドイッチの食材のほとんどは淡路島産のものにこだわって使っていて「おすすめはローストビーフや近くにあるこみち食堂の名物すじこんを使ったホットサンドです。サンドイッチの食材の味をできるだけ味わっていただくために味付けは薄めにしています。それから南あわじ市灘の原田さん家のミカンを使った生ジュースもおいしいですよ。」と語ってくれました。注文を聞いてから作るので、とても新鮮なサンドイッチです。店内で、その日のスープと一緒に味わうことができます。もちろんお持ち帰りもできますよ。 応援隊：田処 吉久

築130年の古民家で  
本格的な蕎麦を味わう..



# 古民家の宿・手打ち蕎麦 薫陶の郷



蕎麦ランチ

倭文小学校の交差点を土井の方に向かいJAあわじ島倭文のガソリンスタンドを右折し農道を進むと



池上邦彦さん みさえさん夫妻  
出身地:宝塚市

「あ!あれや!」とすぐわかります。田んぼの真ん中の小高い山の上の立派なお屋敷が「薫陶の郷」です。築130年以上の元庄屋さんのお屋敷です。



手入れのよくいき届いた庭、回り縁側の広々とした部屋、太い柱や梁、囲炉裏、全てがワンランク上の古民家で、その部屋の隅に置かれている調度品や小物なども心地よくホッとするような雰囲気漂っています。



薫陶の郷を営む池上さんは、38歳で自動車の整備・販売会社のサラリーマンを脱サラし鉄板焼きのお店を始めました。「自然の豊かな土地で民宿をしたい」という夢を実現するため、長野県飯島町に古民家を手に入れましたが、所有していたマンションが平成7年の阪神淡路大震災で

半壊し資金計画が止まってしまうなど、辛い挫折などもあったそうなのですが、2年がかりで古民家を探した結果、倭文土井の元庄屋の古民家「薫陶の郷」に出会えました。宝塚市にいた頃にそば打ち教室に通い「手打ちそば」の技術を身につけ、北淡のそばカフェ生田村の設立にも協力されたそうです。

薫陶の郷で生活するようになって今年で7年目を迎えましたが、親しくくださる地



メニューは、倭文そばランチ・囲炉裏ランチ(10~5月)があります。必ず予約をしてください。

域の方も増え、自然豊かな中でゆったりと時間が流れる空間、草刈りを終えて燃やす煙のたなびく景色など全てに心を癒してもらっている、とおっしゃっています。「淡路島より長野の方がよかったです。京阪神に近いので昔からの友達も来やすいし、人が優しく人情味にあふれています」とおっしゃって下さいました。応援隊:竹谷 香代・坂本 厚子

南あわじ市倭文土井1541 ☎0799-46-0522



## 今月の生活創造活動グループ紹介 にほんごクラブ

こんにちは。げんきですか?」...こんな風に日本語学習が始まりま

学習者は学校の英語の先生、企業の技能実習生や看護師候補生、結婚で日本に来られた方など様々ですが、みなさんそれぞれにボランティアさんに会う日を楽しみにしています。日本語の学習を通して仲良くなり、相談ごとを聞いてもらったり、時には一緒に出かけたりと、自然な形の国際交流ができています。

す。NPO法人淡路市国際交流協会では事業の一つとして在住外国人の方への日本語学習支援を行っています。その名は「にほんごクラブ」。淡路市の地形上、毎週みんなで集まっての勉強というスタイルが難しいため、学習者である外国人の方と日本人支援者が都合の良い場所と時間を決め1対1や少人数のグループで、日本語の勉強をはじめお互いの国の習慣や文化紹介など楽しみながら学習しています。



淡路島にいてできる国際交流・協力にあなたも参加しませんか? 経験がなくても研修などの機会もありますので、興味のある方はお問い合わせください!

★淡路文化会館からののお知らせ（コミュニティ応援隊派遣のお知らせ）

**研修会やワークショップに講師やボランティアスタッフを派遣します！**

地域の依頼内容にふさわしい講師を、あらかじめ登録されたコミュニティ応援隊のメンバーの中からご紹介し、講師に依頼内容を伝え、当日の進め方や日程調整のお手伝いもします。

経費や会場、どうすれば……。

県民交流広場を積極的にすすめている地域の実践に学んで、うちでも生かしていきたいなあ……。

子育て講座を開きたいけど、講師は誰がいいかしら……

研修会やワークショップを検討されている皆さん！ぜひご活用ください！



◆募集期間

平成27年5月15日(金)～平成28年2月12日(金)

◆募集対象

県民交流広場取組地域、淡路島内に在住、在勤、在学するグループ

◆募集件数

5件(※実施予定数に達した場合、募集を停止します。)

◆費用

- ①講師派遣の場合は、謝金3万円を県が負担します。旅費等は申請者負担となります。
- ②ボランティアスタッフ派遣の場合は、旅費を県が負担します。

◆募集時期

平成28年3月4日(金)まで

◆募集対象

淡路文化会館備え付けの申請書にて直接お申し込みください。(ホームページからダウンロードも可)

※くわしくは淡路文化会館[0799-85-1391]までお問い合わせください。

★兵庫県淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島のお知らせ★

兵庫県淡路消費生活センターからののお知らせ

くらしの安全・安心推進員をご存じですか？

「くらしの安全・安心推進員」は安全で安心なくらしを推進することを目的に地域の消費生活のリーダーとして、消費者被害に遭いやすい高齢者等への見守りを強化するため、兵庫県が委嘱した方々です。

主な活動内容

1. 被害未然防止のための見守り活動
  2. 消費生活に関する情報の収集や提供活動
  3. 相談の対応と相談窓口の紹介
  4. 出前講座や資料配布等の啓発活動
- などです。各市の推進員は、

- 洲本市 17名
- 南あわじ市 9名
- 淡路市 20名

詳しくは消費生活センターまでお問い合わせください。



淡路島のまち・地域づくり活動を応援する

「プラットフォーム淡路島」からののお知らせ

地域づくりに関わっている仲間が集まり、昨年立ち上げた「プラットフォーム淡路島」。今年度は新メンバーも増え、皆さまと共に更なる有意義な活動をしてまいります。新メンバーの紹介は来月行いますのでお楽しみにしてくださいね～

☆今年度の予定をご案内いたします☆

◎9月ごろ：第1回淡路地域づくりラウンドテーブル  
テーマ：「(仮題)防災とコミュニティ」(会場は未定)

◎11月：第2回淡路地域づくりラウンドテーブル  
テーマ：かいぼり 場所：長澤地区(淡路市)

◎2月ごろ：第3回淡路地域づくりラウンドテーブル  
視察研修(予定)

テーマ：ボランティアによる災害救援・復興まちづくり  
(H26年丹波市水害被災地など)

\*上記はあくまでも予定で変更の場合もあります\*

詳細は決定次第、このコーナーで告知していきます。皆さま、お知り合いをお誘いの上、ご参加ください。新たな出会いや、情報交換、そして学びの場としていきましょう！！

【申込&問合せ】 プラットフォーム淡路島

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課

TEL/0799-26-2043 FAX/0799-26-3090

メール/ [awajiken@ref.hyogo.lg.jp](mailto:awajiken@ref.hyogo.lg.jp)



兵庫県淡路消費生活センター

消費生活相談・多重債務相談

☎0799-23-0993 9:00～12:00 13:00～16:30

(土日祝日・年末年始は除く)

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
<b>淡路島</b> 国営明石海峡公園  〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	季節のクラフトあそび 「押し花・ラベンダー クラフト」	6/20(土)、21(日)、27(土) 28(日) 10:00~17:00 ※ビジター棟1階	押し花ハガキ:200円 押し花しおり:200円 ラベンダー香り袋:100円 ラベンダースティック:200円 ※別途入園料・駐車料金が必要
	「吹き戻し体験」	6/20(土)、21(日) 11:00~17:00 ※ビジター棟1階	参加料:300円 ※別途入園料・駐車料金が必要
<b>兵庫県立</b> 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」  〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00 (最終入館17:30)	ホワイトガーデンショー -シーボルトのホワイト ガーデン-	5/18(月)~7/12(日)	入館料:大人600円、65歳以上(要 証明)300円、高校生300円、 中学生以下無料
	和の水の庭 「江戸のハナショウブ と和の演出」	5/18(月)~7/12(日)	同上
	食虫植物展	6/27(土)~9/27(日)	同上
<b>洲本市文化体育館</b> 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	映画上映会 種まく旅人 くにうみの郷	6/28(日) ①12:30 ②15:30 ③18:30 開場30分前 文化ホール『しばえもん座』	有料(全国共通特別鑑賞券) 【問】淡路島観光協会 TEL 0799-25-5820 チケット販売所:洲本市文化体育 館、洲本商工会議所、五色商工会 議所他
<b>淡路人形座</b> 「6月公演」 『阿波十』  〒656-0501 南あわじ市福良甲1581-1 地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	【通常公演】 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 6/1(月)~30(火)「人形解説」「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 ※なお6(土)、11(木)は演目が変わります。「太夫、三味線、人形解説」・「戎舞」 ※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。		
	【休館日】	毎水曜日は定休日になります。 6/3、10、17、24	

**街と町の交流をすすめる活動を応援します！ ～都市農村交流促進事業～**

(一財)淡路島くにうみ協会では、都市と淡路島の農漁村との交流を促進する事業を実施しようとする団体に対して経費助成を行います。

(一財)淡路島くにうみ協会

TEL 0799-24-2001

FAX 0799-25-2521

http://www.kuni.umi.or.jp



**1 補助対象**

- (1) 都市と淡路島内の農漁村との交流の促進に資する事業
- (2) 収益を目的としない事業
- (3) 政治的、宗教的活動を目的としない事業
- (4) 平成27年4月1日から平成28年3月31日までに実施する事業

**2 補助金額** 上限50万円(人件費、食糧費、備品費等は除く。) ※予算額に達し次第終了

**3 受付期間** 平日9:00~17:30

※要綱・様式は淡路島くにうみ協会HPから

所	イベント	日時・会場	料金等
<b>洲本市文化体育館</b> 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	<b>第23回</b> <b>爽美会日本画展</b>	6/6(土)~8(月) 10:00~17:00 最終日16:00まで ※会議室1A-2・3	鑑賞無料 【問】富山 0799-62-0088
	<b>第47回</b> <b>潮香会書作展</b>	6/13(土)~14(日) 10:00~18:00 最終日16:00まで ※会議室1A-2・3	鑑賞無料 【問】脇田 0799-22-6805
<b>洲本市</b> <b>市民交流センター</b> 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	<b>第6回環境ポスターコンテスト</b> ※6月5日の世界環境デーにちなみ、幼児・小学生を対象に環境ポスターコンテストを開催します。	募集期間：~6/28(日)まで テーマ：「淡路島の自然を守ろう！」をテーマとした絵画、ポスター等 ※応募作品の中から3点を表彰 ※応募作品は8/4(火)~29(土)までロビーにて展示します。	鑑賞無料 【問】市民交流センター 0799-24-4450
	<b>東原るび写真展</b>	6/2(火)13:00~6/14(日) 17:00まで 9:00~21:00 月曜休館 ※アールギャラリー ※「復興古布を紡ぐ」同時開催 (ロビーにて)	
	<b>「五色の夕日フォトコンテスト」応募作品展</b>	6/16(火)13:00~6/30(火)15:00 9:00~21:00 月曜休館 ※アールギャラリー 平成26年度開催された「五色の夕日フォトコンテスト」の応募作品全89点を展示	
<b>南あわじ市</b> <b>滝川記念美術館玉青館</b> 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	<b>直原玉青没後10年</b> <b>善縁コレクション展V</b> ~千福寺コレクションから~ (其の式) <b>高野山開創1200年弘法大師</b> <b>修行図絵</b>	~6/28(日) 9:00~17:00(入館は16:30まで) 月曜休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館 0799-36-2314

編集だより

ゴールデンウィーク、花みどりフェアが終わり、いよいよ暑い、うっとうしい梅雨に入るのかと脱力状態になっておられる方も多いのでは？そんな方に元気の出るっておきの情報を編集しました。外国や島外から淡路島にいられて、料理のお店を経営されている方を訪問し取材しました。淡路島にいられた理由や意気ごみを感じながら本場の味をお楽しみいただけたらと思います。あなたも、いろいろなお店を見つけて訪問してみると、きっと元気が出ますよ。(応援隊：米田 静子)

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊  
**淡路文化会館**

〒656-1521 淡路市多賀600  
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400  
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

